

幹線分析シートの使い方

別紙2で使用するファイル

- 幹線分析シート.xlsx

幹線分析シートの使い方

様式1-5より転記		Aバス株式会社																									
補助年度を記入(R1、令和1 など)	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	キロ程(km)	運行回数(A)(回)	年間輸送実績					経常収益			経常費用		平均乗車密度算定			輸送量(A)×(G)	市町村による回数券購入等の有無	備考	経常収支率	国庫補助金申請額(千円)(力)	地域公共交通再編事業の特例措置の有無	
								輸送人員(人)	1人平均乗車キロ(km)	輸送人キロ(人キロ)	運送収入(B)(円)	実走行キロ(C)(km)	運送雑収(D)(円)	営業外収益(E)(円)	計(B)+(D)+(E)	1系統当たり経常費用(円)	(運賃改定前の平均乗率×適用日数+運賃改定後の平均乗率×適用日数)÷総適用日数	平均乗率(F)(円)	平均乗車密度(B)/(C)×(F)(G)								
H29	99	A市役所～B駅	A市役所	B駅	C病院	17.5	10.9	76251	3	266878	14613559	122993	923475	190288	15727322	41693295		50.7	2.1	22.7	有・無		36%	8873	有		
H30	99	A市役所～B駅	A市役所	B駅	C病院	17.5	10.9	76618	3	275823	14732523	122583	952986	188452	15873960	41193877		50.7	2.1	22.7	有・無		37%	7152	1		
R1	99	A市役所～B駅	A市役所	B駅	C病院	17.5	10.9	77203	3	270209	14573892	123035	1039805	207403	15821101	39067175		50.7	2.1	22.7	無		38%	7282	1		
R2	99	A市役所～B駅	A市役所	B駅	C病院	17.5	10.9	71878	3	230009	12523005	125269	1648632	274137	14445774	41852466		50.2	1.7	18.6	無		33%	5463	1		
R3	99	A市役所～B駅	A市役所	B駅	C病院	17.5	10.9	69442	3	236103	12725887	123580	1257828	246728	14230443	41540177	52,800÷365日×365日	50.2	1.8	19.7	無		33%	3469			
R4	99	A市役所～B駅	A市役所	B駅	C病院	17.5	10.9	67230	3	228581	12243402	126905	1414670	254724	13912797	43061497	50,000÷365÷0.0001×365	50.0	1.7	18.6	無		31%	2587	無		
R5	99	A市役所～B駅	A市役所	B駅	C病院	17.5	10.9	66260	3	218657	11798200	127029	980562	262509	13041271	45054532	50,000÷365÷0.0001×365	50.0	1.6	17.6	無		27%	3453			
R6	99	A市役所～B駅	A市役所	B駅	C病院	17.5	10.9	69272	3	235525	12617388	127098	1235267	278158	14130813	49302449	50,000÷365÷0.0001×365	50.0	1.7	18.6	有(○)		27%	2651	無		
R7																											
R8																											
R9																											
R10																											
↑毎年、年度を記入の上、1行ずつデータを追加していく(過去のデータを上書きすると、経年変化がわからなくなる)																											

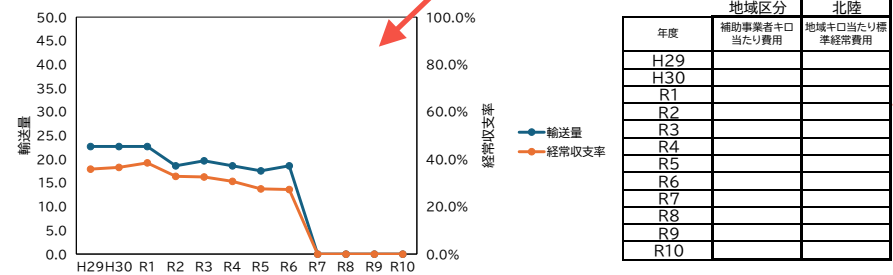
↑毎年、年度を記入の上、1行ずつデータを追加していく(過去のデータを上書きすると、経年変化がわからなくなる)

↓このセルで年度を選択すると、当該年度のデータが自動で入力されます
R6 年度 地域間幹線系統(A市役所～B駅～C病院)分析シート

1.系統の概要								Aバス株式会社	
申請番号		99		事業者名					
起点		主な経由地				終点		キロ程	
A市役所		B駅				C病院		17.5	

2.補助系統にかかる指標(実績値)									
補助年度	運行回数	輸送人員 (人)	経常収支率	平均乗車密度	輸送量	補助額(円)			事業者負担 額(円)
						国庫補助	県補助	市町村補助	
H29	10.9	76,251	35.8%	2.1	22.7	8,873,000			17,092,972
H30	10.9	76,618	36.6%	2.1	22.7	7,152,075			18,167,342
R1	10.9	77,203	38.5%	2.1	22.7	7,281,750			15,944,324
R2	10.9	71,878	32.8%	1.7	18.6	5,462,975			11,943,717
R3	10.9	69,442	32.5%	1.8	19.7	3,469,400			13,840,334
R4	10.9	67,230	30.7%	1.7	18.6	2,587,325			26,561,376
R5	10.9	66,260	27.5%	1.6	17.6	3,452,775			28,560,486
R6	10.9	69,272	27.2%	1.7	18.6	2,650,500			32,521,136
R7									
R8									
R9									
R10									

【輸送量・経常収支率の推移】



【キロあたり費用】		
	地域区分	北陸
年度	補助事業者キロ 当たり費用	地域キロ当たり標 準経常費用
H29		
H30		
R1		
R2		
R3		
R4		
R5		
R6		
R7		
R8		
R9		
R10		

3. 系統の必要性

①沿線の主な施設	本系統で「行ける」施設 学校:A高校、A南高校、西A高校、B農業高校、B商業高校、C中央高校等 病院:県立〇〇病院等 駅:B駅 買い物:C市ショッピングセンター、イオンモールA等 娯楽施設:B市温泉
②並行鉄道・バス路線の有無	本系統で「行けない」施設 学校:A商業高校、A中央高校(隣の公共交通が無い) 駅:A駅、C駅 娯楽施設:C町の湯(A市からは×、C町からは徒歩で○)
③並行鉄道・バス路線の有無	B駅～C町駅間は鉄道とバス路線が平行しているが、運行時刻で棲み分けがされている。
④広域利用の状況	主にB市やC町から①に示した各施設にアクセスするために利用されており、B市からは〇人/日程度、C町からは△人/日程度の利用がある。
⑤通学・通院利用の状況	主にB市やC町から①に示した高校や病院等に通うために利用されている。 また、B駅で乗り継いで通勤・通学するためにも利用されており、B駅は〇人/日程度の乗降がある。
⑥本系統への補助の必要性	B市やC町からA市への通勤・通学、買い物、通院などに利用されており、③、④に示すように一定の利用者数も確認できるため本系統を補助金を投入して維持する必要がある。

4. 接続する地域内フィーダー系統

系統名	市町村:協議会	運行(予定)事業者	接続停留所	補助額	
A市コミュニティバス	A市地域公共交通活性化協議会	Aバス株式会社	A市役所	国補助	県補助
				¥1,000,000	

5. 今後の取り組み方針

事業者の取組	B駅の乗継時間改善と、鉄道とのダイヤ調整によるバスと鉄道の時刻の等間隔化を図り、利便性向上を行う。
市町村の取組	A市からB市、C町への利用が少ないため、B市、C町の施設と連携した利用促進を検討する。
県の取組	B駅～C町駅間は鉄道とバス路線が平行し、運行時刻で棲み分けをしていることから、相互に乗車できれば利便性が高まると考えられるため、バスと鉄道の共有乗車券の造成を検討する。

※系統図・時刻表などの参考資料があれば2ページ目に添付してください

各年の様式1-5から、系統のデータを該当する年度の行にペーストすると、分析シートの項目が自動で作成されます。上書きをせずに、年度のデータを追加していきます。(経年変化を追うため)

県補助額、市町村補助額(太枠の項目)は自動入力されませんので、値を入力してください。

各年のデータからグラフが自動作成されます。

事業者のキロ単価、ブロックのキロ単価(太枠の項目)は自動入力されませんので、値を入力してください。

沿線に所在する主な施設(高校、総合病院、ショッピングセンター、主要鉄道駅など)を「行ける行けない表」の作成結果をもとに”行ける”施設と”行けない”施設に分類して記入してください。

並行する鉄道やバス路線が存在する場合、並行する区間などについて記入してください。(代替交通機関があるかどうかの検討や、補助路線として維持する意義を検討するため)

市町村をまたぐ利用がなされているかどうかについて記入してください。(広域的な路線としての役割を果たしているかどうか検討するため)ODデータ等、市町村間の移動状況が分かるデータがあれば、それに基づいて整理してください。

当該系統による通学や通院利用の状況について記入してください。

①～④を踏まえて、本系統への補助の必要性を記入してください。

この系統に接続することで補助を受けているフィーダー系統について記入してください。

この系統の活性化・生産性向上のために事業者として今後取り組む内容を記入してください。

この系統の活性化・生産性向上のために市町村(単独・連携)として今後取り組む内容を記入してください。

この系統の活性化・生産性向上のために県として今後取り組む内容を記入してください。